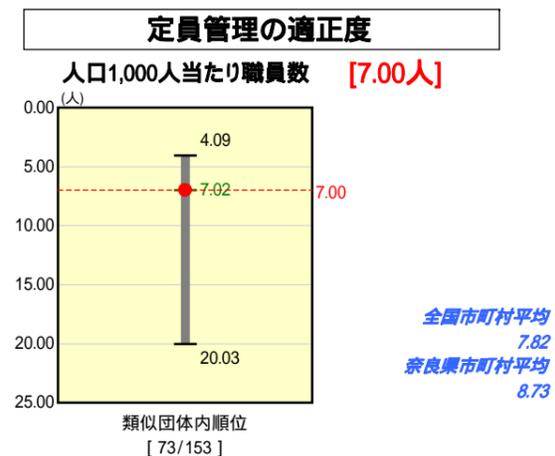
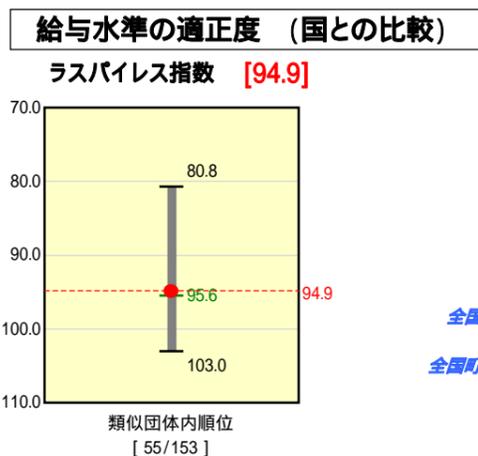
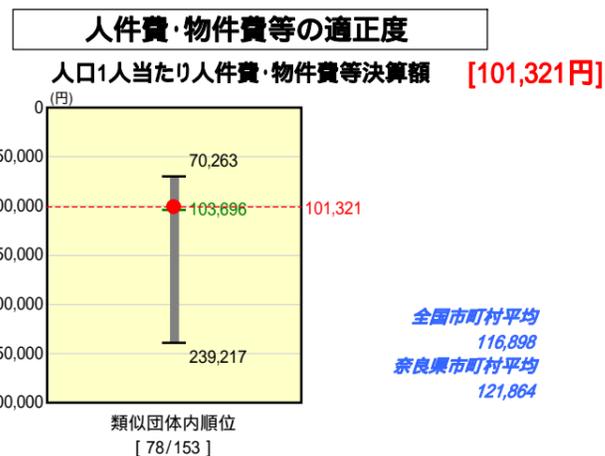
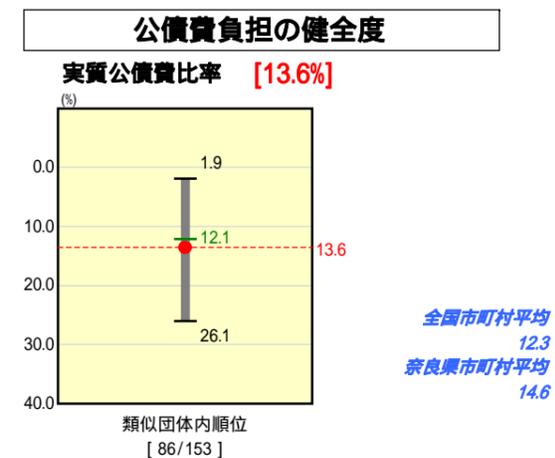
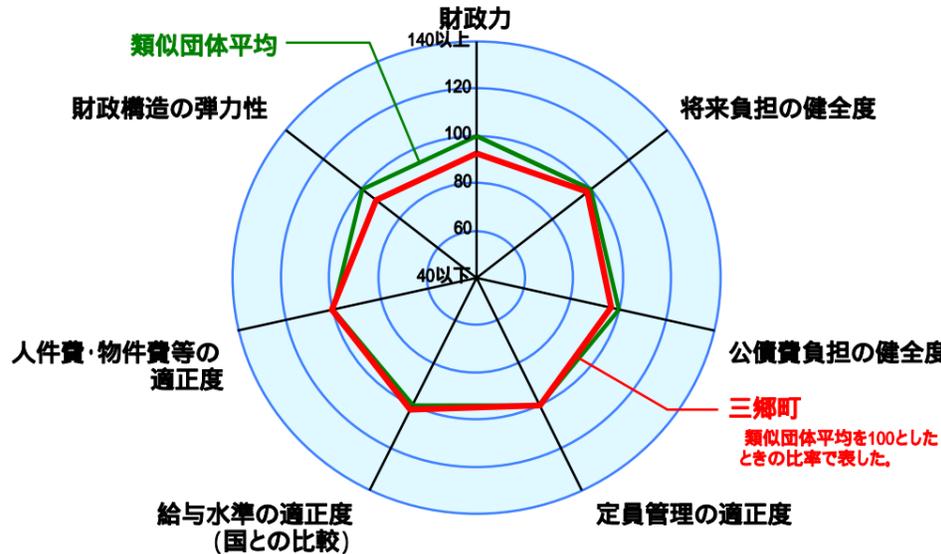
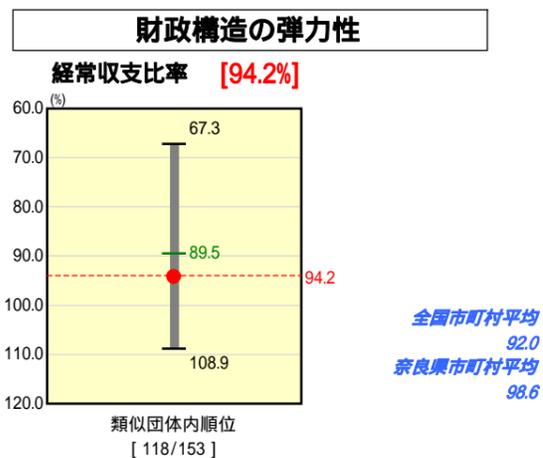
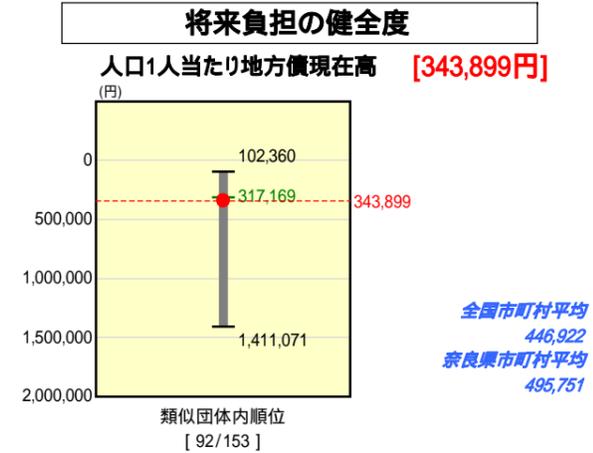
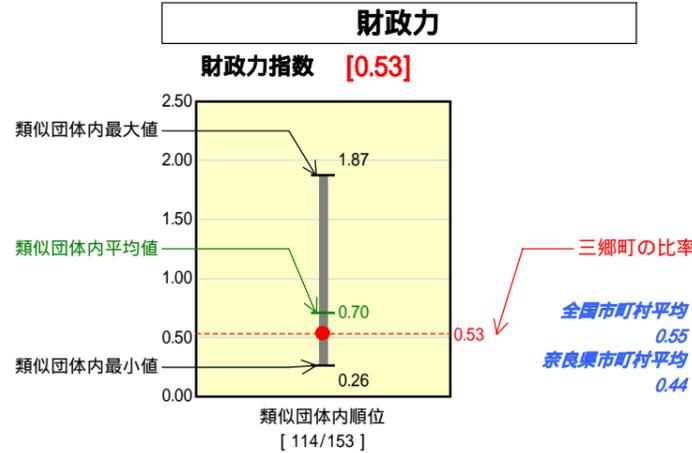


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

奈良県 三郷町

人口	23,140人	(H20.3.31現在)
面積	8.80	km ²
歳入総額	6,944,623	千円
歳出総額	6,651,953	千円
実質収支	288,941	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

分析欄

財政力指数: 国勢調査人口の減少や産業が少ないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を大きく下回っている。個人・法人税などの歳入の確保が困難な状況であることが指数に表れており、引続き、人件費・物件費などの経常経費を抑制し、税収の徴収率向上対策を中心とする歳入確保に努める。

経常収支比率: 平成18年度より2.8%高くなっており、類似団体平均を大きく上回っている。他会計への繰出金のうち公債費に対する支出の増(7,044万円)及びし尿処理経費等による補助費等の増(1億715万円)が大きく影響し、比率は年々高くなっている。今後においても、退職による新規職員採用の抑制などによる人件費の削減、他会計も含めた新規発行債の抑制などによる公債費負担の抑制などの義務的経費の削減により一層努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 消防業務については一部事務組合で行っていることから、人件費ではなく補助費等に含まれているが、類似団体平均と比較すると若干上回っている。平成18年度と比較しても約2千円の減となっており、今後においても行財政改革への取り組みを通じて抑制を図るよう努める。

ラスパイレス指数: 類似団体平均を若干上回っているが、今後もより一層の給与の適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高: 依然類似団体平均よりも上回っているが、本町としては年々減少してきており、平成18年度と比較すると1人当たり約3万2千円の減となっている。これからも新規発行債は慎重に発行することとし、類似団体平均水準となるよう努める。

実質公債費比率: 平成18年度と比較すると大きく下がっており、類似団体平均に近づいてきている。公債費については、償還額の大きい地方債の償還が完了していくことから、年々下がっていくが見込まれ、これからも類似団体平均水準となるよう努める。

人口1,000人当たり職員数: 過去からの職員の新規採用抑制策により類似団体平均とほぼ同数となっている。今後においても、職員採用については、退職による新規職員採用の抑制を図るなど職員の純減を図ることを目標にする。